

No.	質問事項	質問内容	回答
1	公募型プロポーザル実施要領実施要領 6. (3) 企画提案書【企画提案書の作成要領】	表題には「正本 1 部、副本 6 部」と書かれておりますが、【企画提案書の作成要領】の表中「参加表明書」には「残り 8 部は副本とする」と記載されています。参加表明書のみ副本を 8 部用意する、と理解すればよろしいでしょうか。	【企画提案書の作成要領】にあります「残り 8 部は副本とする」は誤りです。 正しくは表題に記載のとおりとなりますので、「正本 1 部、副本 6 部」を提出してください。
2	公募型プロポーザル実施要領実施要領 6. (3) 企画提案書【企画提案書の作成要領】	「類似業務受注実績（様式 2）及びその契約書の写し」の中で、電子媒体の成果物（計画書）を添付するとありますが、CD-R に入れて提出という認識でよろしいでしょうか。	質問内容のとおり、CD-R 等の記憶媒体に、一般的に閲覧可能なファイル形式で格納し提出していただくことを想定しています。
3	事業者選定評価基準表 1 ①関連業務の実績	当広域連合と同等規模の自治体との実績はあるか。とあり、様式 2 に 3 件の実績をいれるようになっていますが、実績が 3 件以上ある場合も、3 件を記載するとの認識でよろしいでしょうか。	類似業務受注実績及びその契約書の写しの提出を求めるのは、実施要領の 2 参加資格、(1) 参加資格、「⑧国、地方公共団体等の行政機関において、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間に本業務と同等以上の業務を受託した実績を有すること。」及び評価基準の表 1 「①関連業務の実績」を確認するためのものです。 このことから、参加資格で定める期間内において、本業務と同等以上の業務を受託した実績があり、かつ、当広域連合と同等規模の自治体との実績があることを示していただければ、挙げていただく件数は問いません。 なお、過去 5 年間の実績に限定しているのは、古いものは評価対象としないという意図で、最近の実績から挙げていただくことが望ましいと考えています。
4	業務仕様書 7. (1) ア 調査票の設計・作成	アンケート調査のオンライン回答について、①～⑥まですべての調査で実施するのか、それとも効果を考慮した方法を提案させていただき、協議によりオンラインを実施しない調査もありえるのかご教示ください。	オンライン回答は、回答者の利便性を上げることで、回答率の向上をめざして今回新たに追加したものです。このことから、可能であれば①～⑥のすべての調査で実施し、郵送とオンラインの回答を併用したいと考えていますが、企画提案には見積上限額を定めているため、この範囲で実施可能な手法をご提案していただきたいと考えています。より効果的なご提案がある場合にはご提案ください。 なお、オンラインによる回答方法の提案が全くない場合は、評価基準の表 1 で示す③の評価に影響しますのでご注意ください。
5	業務仕様書 7. (1) ア 調査票の設計・作成	アンケート調査のオンライン回答との併用を行うとき、重複回答を排除する方法を採ることが必須なのか、手間や費用対効果から判断することを許容するのかご教示ください。	企画提案には見積上限額を定めているため、この範囲で実施可能な手法をご提案していただきたいと考えています。 また、同一の方から複数の回答があると正確な統計が採れないため、できる限り重複を排除したいと考えています。より効果的なご提案がある場合にはご提案ください。
6	業務仕様書 7. (1) ウ 調査の実施	回収先は委託者とすること。回収された調査票は、返信用封筒ごと委託者から受託者に引き渡す。封筒の開封は受託者が行うこと。とありますが、回収の期間はどのくらいを見込んでいますか。また、回収方法に指定はありますか。	回答期間は 1 か月を予定しています。 回収については委託者が行いますが、引き渡しについては、内容に個人に関する情報が含まれる重要書類のため、直接、対面による受渡しに限ります。 受渡しは随時行いますが、週 1 ～ 2 回程度を想定しています。